

区議会レポート

115号

2025年9月3日発行

葛飾区議会議員

かわごえ誠一

本号の内容

表面：区議会第三回定例会など

裏面：活動報告ピックアップ

発行：

かつしか区民連合

【区議会控室】〒124-0012

東京都葛飾区立石 5-13-1

電話 03-3695-1111 (代)

f a x 03-3697-0137

葛飾区議会第三回定例会開会へ

◆8月27日(水)の議会運営委員会において、第三回定例会が招集され9月10日(水)に開会し、10月7日(火)までの28日間の会期で開催されることが報告されました。

■第二次一般会計補正予算案 71億5,600万円

◆今定例会では補正予算案として一般会計で71億5,600万円が計上される予定です。◆災害対策経費として感震ブレイカー設置費助成666万円、地域活動推進経費として防犯カメラ設置費助成12,873万円、気候変動対策推進事業経費として省エネルギー設置等導入費助成54,811万円などそれぞれ支出額増による増額の補正が計上され、区民の安全・安心への取り組みや地球温暖化対策への支援が進められる予定です。

■決算審査特別委員会設置へ

◆今定例会では令和6年度決算案が上程され、決算審査特別委員会が設置される予定です。◆9月29日(月)から分野別に4つの分科会に別れ、審査されることになります。

◆この任期での最後の区議会定例会となります。◆この4年間の集大成となるように臨んでまいります。

■区議会議員協議会開催

◆8月19日(火)に区議会議員協議会(全員協議会)が開催されました。◆昨年より区議会文教委員会でバルサアカデミー葛飾校を取り巻く、運営団体キッズチャレンジ未来の不適切な経営状況などについて議論されましたが、弁護士会に委員の推薦を依頼し、第三者委員会が設置されることが報告されました。◆合わせて関係者を招聘して意見を聴取しました。◆この一連の課題について、根本的には政策決定過程の資料～公文書が残っていないことが大きな問題だと考えています。◆意思決定過程について検証ができないという状況では、行政のあり方として大きく信頼性を欠くことになることを改めて指摘していきたいと思います。

葛飾区議会・区長選挙について

◆去る8月14日に葛飾区選挙管理委員会から、任期満了に伴う葛飾区議会議員選挙(任期11月12日)及び区長選挙(任期12月18日)の概要が発表されました。◆今回は即日開票になります。◆9月3日(水)に区長・区議選立候補予定者説明会がテクノプラザ大ホールで開かれ、区議会議員選挙の説明会には40名の定数に対し約70陣営

が参加しました。◆葛飾区の将来を決める選挙です。

◆多くの方に関心を持っていただきたいと思います。

◆定数：区議会議員40人 ◆区長：1人

◆告示日：令和7年11月2日(日)

◆投票日・開票日：令和7年11月9日(日)

◆期日前投票：11月3日(月)～8日(土)

■かわごえ誠一連絡先■

〒124-0012 葛飾区立石8-47-18

携帯電話 090-2932-7315

e-mail : info@kawagoeseiichi.com

◆かわごえ誠一プロフィール◆

●1963年3月川崎市生まれ ●立石在住37年 ●防災士 ●子育てネットワーク・学童保育・PTA・図書館友の会などの活動に取組む ●都議会議員秘書を経て2013年区議選で初当選・2021年三期目当選 ●議会所属：保健福祉委員会・議会運営委員会・危機管理対策特別委員会など

かわごえ誠一オフィシャルサイト www.kawagoeseiichi.com →

日々の活動はFacebook かわごえ誠一をご覧ください。



かわごえ誠一活動報告ピックアップ

■公文書等管理に関する研修会開催

◆葛飾区公文書等管理条例が4月に制定され、10月から施行されることに先立ち、去る8月21日に区の管理職向けに公文書管理に関する研修会がシンフォニーヒルズで開催されました。

◆講師の東洋大学副学長早川和弘教授から公文書管理の意義や、各地域の事例など、実践的な内容を伺うことができました。◆公文書管理が住民主権の基本であり、「公文書管理無くして適切な行政活動なし」と強調され、そのために職員の意識改革が欠かせないと語られていました。



■葛飾区非核平和祈年のつどい開催

◆去る8月1日(金)に非核平和祈年のつどいが葛飾区と葛飾区原爆被爆者の会(葛友会)共催で開催されました。◆原爆犠牲者慰霊碑のある青戸平和公園にて献水の儀を執り行った後、テクノプラザ大ホールにおいて、平和を祈念するつどいが開催されました。◆中学生から平和教育の紹介や折鶴の献架が行われました。



■保健福祉委員会行政視察 佐賀県基山町 PICFA

◆5月15日(木)保健福祉委員会行政視察の最終日に佐賀県基山町の病院施設内のB型就労施設PICFAを訪れました。◆障害を持っている方々(利用者)、個々の特性に応じ制作の場をつくり、作品をコーディネートして収入につなげていました。◆障害者アートが「ボランティア」でなく、仕事として受注するために様々な場面で発信してきた努力など、代表の原田啓之さんから直接伺うことができました。◆利用者の個展を開き、作品が売れた場合には全て作家として利用者に収益を渡すなど、障害者の自立に向けての取組みが進められていました。◆障害者アートを広げるためには、熱い思いとコーディネートする人材が必要だと考えさせられました。



■エチオピアコミュニティ・地域協働防災訓練

◆6月29日(日)に涉江東公園と子ども未来プラザ東四つ木でエチオピアコミュニティとの協働で防災訓練が開かれました。◆能登半島地震で外国ルーツの方々が孤立したという情報がありました。◆地域で活動するエチオピアコミュニティのNPOの方々から災害時の情報不足や対応が解らないなど不安を伺い、昨年からの訓練が行われてきました。◆地域の町会



関係者の他、日本語通訳ボランティアの方々が参加し、消防署や消防団などの指導のもと、防災訓練が実施されました。◆多文化理解を進め、災害時に共に助け合う関係を構築していきたいと思います。

